

## アイドリングストップ装置の導入効果について

県の補助金を活用してアイドリングストップ装置を導入された31社に対して導入効果に関するアンケート調査を実施した結果は次のとおりでした。

(注)アンケートは5月に実施

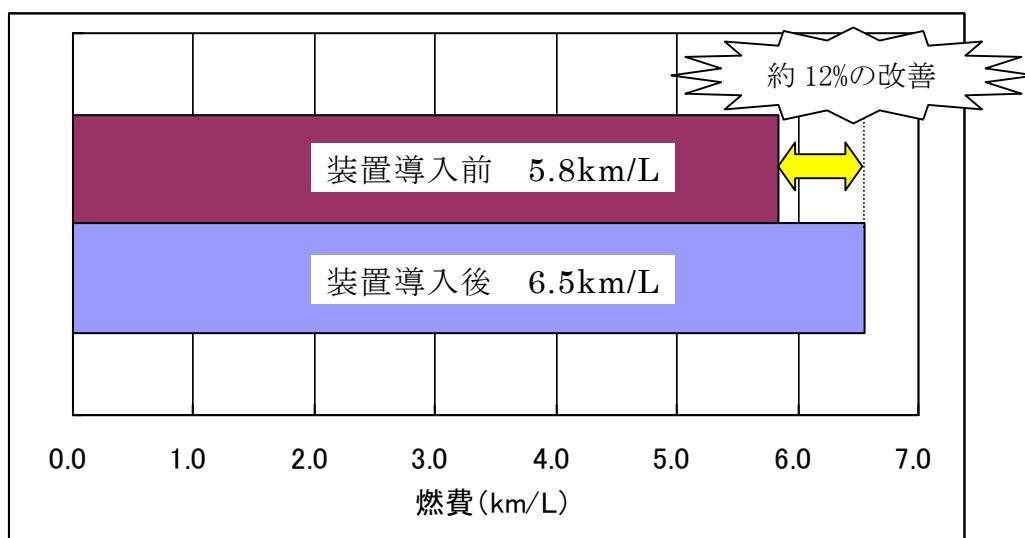
### 1 燃費改善効果

31社の燃費改善率の平均は約12%でした。

このことから、全体で年間28.8t（家庭用エアコン80台分）の温室効果ガスの削減が見込まれます。

また、年間20,000km走行した場合、軽油370ℓ（37,000円）の節約となります。

導入前後の燃費の比較



一方で、

- ・ 後退時や交差点での右折の際の一時停止時にもエンジンが止まることがあり、危険を感じた。
- ・ エンジンが止まると暖房やカーナビなどの周辺機器も使用できなくなる。

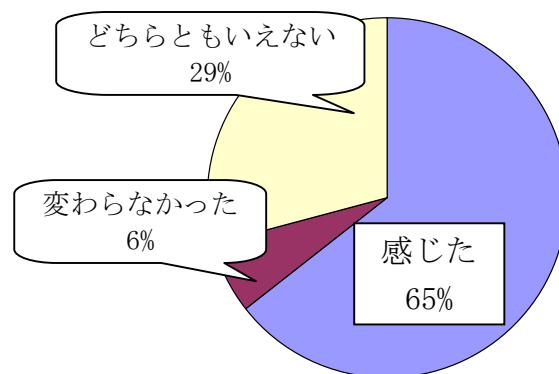
などの意見も寄せられましたが、メーカーにおいてアイドリングストップの一時的な停止機能の付加や、ギアをニュートラルに入れられない限り停止しないなどの対応がなされています。

なお、導入に当たっては、装置の特徴や運転状況を考慮して、機種を選定することが重要です。

## 2 エコドライブ意識に対する効果

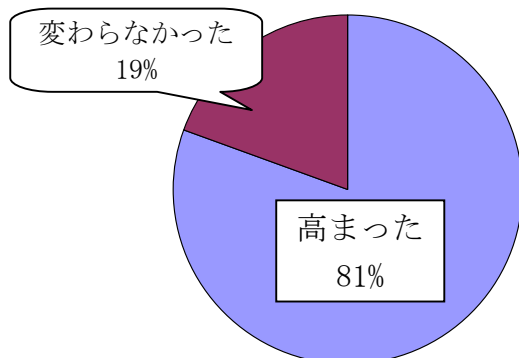
導入事業者の65%が「アイドリングストップ装置による燃費改善効果を感じた」と回答しています。

○アイドリングストップ装置による  
燃費改善効果を感じましたか



また、環境保全意識の面では、「導入によりエコドライブの意識が高まった」との回答が81%、「仕事以外でもエコドライブを実践する」との回答が94%になるなど、エコドライブへの関心を高め、実践につなげていく上で大きな効果があったものと思われます。

○エコドライブに対する意識は高まりましたか



○職場以外でもエコドライブを実践したいと思いませんか

